

平成29年度 事業報告

社会福祉法人 浄蓮福社会

浄蓮寺保育園

□法人本部区分

(1) 理事会開催実績

開催日	決 済 事 項
平成29年6月10日	1. 平成28年度事業報告について 2. 平成28年度決算について 3. 平成28年度監査報告
平成29年6月28日	1. 評議員会の報告 ・法人役員の選任 ・財務計算書類の承認 ・法人役員の報酬 ・当法人の社会福祉充実計画の現状について 2. 理事長の選任について
平成30年1月27日	1. 平成29年補正予算について 2. 指導監査報告

平成30年3月24日	1. 平成30年度事業計画について 2. 平成30年度期首予算について
------------	--

平成30年6月9日	1. 平成29年度事業報告 2. 平成29年度決算報告
-----------	--------------------------------

(2) 評議員会開催実績

平成29年6月28日 平成28年度定時評議員会	1. 理事・監事の選任・解任について 2. 計算書類の承認について 3. 理事報酬・監事報酬の額について 4. 社会福祉充実計画の承認
----------------------------	--

平成30年6月24日 平成29年度提示評議員会	1. 計算書類の承認について 2. 理事報酬・監事報酬の額について 3. 社会福祉充実計画の状況について
----------------------------	--

(3) 監事監査実績（平成29年度事業に係る）

平成30年6月3日	・理事の業務執行状況 適切に執行されており、特に指摘すべき事項はありません。
-----------	---

(4) 指導監査の結果（平成28年度事業に係る。）

平成29年11月17日	・保育所（福岡県監査） (1) 施設運営 施設の中に保育施設の選択に資すると認められる重要事項を提示してください。
-------------	--

- (2) 児童処遇 特になし
 (3) 会計 金銭収入は経理規程に定める期間内に取引金融機関に預け入れるようにしてください

□施設区分

(1) 職員配置

職員数 25名

園長1 主任1 保育士 16 (内5名は非常勤) 栄養士1
 調理員2 (内1名非常勤) 事務員1 用務員 2 (内1名は非常勤)
 バス乗務員 1 (内1名は非常勤)

(2) 入所児童数

(直方市 .北九州市 .宮若市. 福智町)

月 歳	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0	3 0	3 0	3 1	3 1	3 3	6 0	6 0	6 0	6 0	6 0	6 1	6 1	57 7
1	8 4	9 3	9 3	8 4	9 4	9 4	9 4	9 4	9 4	9 4	9 2	9 2	106 42
2	12 4	12 4	13 3	13 3	13 4	14 3	14 3	14 3	14 3	14 3	14 3	14 3	161 39
3	19 0	19 0	19 0	19 0	19 0	19 0	19 0	19 0	19 0	19 0	19 0	20 0	229 0
4	20 2	20 2	20 2	20 2	20 2	20 2	20 2	20 2	20 2	20 2	20 2	20 2	240 24
5	17 0	17 0	17 0	17 0	18 0	18 0	18 0	18 0	18 0	18 0	18 0	18 0	212 0
計	79 10	80 9	81 9	80 10	82 13	86 9	86 9	86 9	86 9	86 9	86 8	87 8	1005 112

(下段は短時間児童数)

(3) 補助金等

29年度 補助金

延長保育事業補助金 300,000円

29年度 寄附金

父母の会 150,000円

(4) 施設及び設備の整備実績

(備品等)

- ・お散歩兼用避難車カバー付 162,000円 (器具及び備品)

(設備整備)

- ・園舎出入口戸取替工事 3,888,000円 (建物整備)
- ・保育室水槽修繕工事 61,560円 (修繕費)
- ・屋外運動場階段改修工事 1,144,800円 (")
- ・屋外運動場階段改修追加工事 270,000円 (")

(5) 職員会議及び職員研修等の実績

- ・職員会議 月1回 園内研修 年齢別に月1回
- ・県内研修
 - ・福岡県保育協会研修会 安全管理、保育の言語化、保育指針、乳児研修、食育、運動と食育 等
 - ・筑豊地区研修会 保育士、給食、事務研修会等参加
 - ・直方市保育協会研修会 各部会研修等参加
 - ・事務研修1回

(6) 苦情等解決機関の設置と実績

- 意見・要望等受付担当者 主任保育士 平木 裕美
- 意見・要望等の相談解決責任者 園長 小山 貞子
- 第三者委員 栗原 一
- 第三者委員 宇野 紀子
- ・平成29年度の実績
第三委員に対する要望等はなかった。

(7) 保育事業報告

● 保育理念

社会福祉法人浄蓮福祉会の運営する浄蓮寺保育園は児童福祉法に基づき「保育に欠ける」乳幼児の心身の発達を助長し養護と教育が一体となって豊かな人間性を健やかに育成する。

保育にあたっては、子どもの人権や主体性を尊重し児童の最善の利益のために家庭や地域社会と連携を図り、保育所の協力のもと家庭援助を行うとともに児童の福祉を積極的に増進するように努め、子育て支援に貢献する。

● 保育目標

- ・乳幼児の発達の筋道を正しくとらえ、情緒豊かな素直で明るい健康な子どもを育てる。
- ・恵まれた自然環境を活用し、心身の調和的発達を図り、集団生活の中で情緒を安定させる。
 1. 体育遊びを積極的に取り入れ、心と身体をたくましくする。
 2. ひとりひとりを大切にし、こころ豊かな思いやりを育てる。
 3. 健康安全など日常生活に必要な基本的な生活習慣を身につける。

- 4.人の話を良く聴き、自分の考えを正しく伝えられる力を身につける
- 5表現活動を通じて創造力を養う。

●一年の反省

- 1.平成29年度は事故（怪我）の件数は6件であり例年に比べ少なかった。
（この内、治療に30日を要する事故は1件だった。）
- 2.この1年を通し教育・保育の質の向上をめざしてきたが、その成果がはっきりと、現れたてきた1年であった。この状況を継続的維持していきたい
保育研修の参加を積極的にし、特に園内研修の充実を図り、職員間の連携を密にして資質の向上を目指したい。
- 3.今年も大きな事故なく無事1年を終えることができた。
気候の変動も激しくなっており、どんな事態になっても対応できるように日頃から訓練を積み、職員全員が対応を熟知しておく必要がある。
- 4.働きやすい職場を目指して、ローテーションによる早出、居残り等の回数を減して、勤務時間を短縮し休みが取りやすくした。国による保育士等の処遇改善政策もあり、賃金面も改善された。今後もより働きやすい職場を目指して努力したい。

浄蓮福祉会における現状と課題

平成29年度は職員の尽力によりのびのびとした子どもらしい園児又意欲に満ちた子ども達を育てることができた。

職員数も多くなり難くなったが、互いに意思疎通を密にして保育理念を共有し、同じ方向に向かって進んでいきたい。

社会福祉法人改革も社会福祉法の一部改正によって平成29年度から実行された、評議員の選定やその他もろもろの改正され法人運営に手間取った。社会福祉法人としての責務の確立、さらに透明性の高い運営を目指したい

I.事業方針について

① 入所児童について

登園は所在地が山の中に位置するため園児の送迎に不便である。

そのため未満児の入所が少ないが平成29年度は、途中から入所数が増え入所児童数は順調であった。

4月当初より未満児の入所が多ければいいが場所を考えると仕方のないことであろう。

② 特別保育事業

乳児保育

事業目的：乳児を受け入れ保護者が安心して働き続けるためと子どもの発達保証を目的とする。

延長保育 通常保育時間（11時間）を超えて実施する保育時間

事業目的；保護者の就労時間形態の変化に伴い、保育時間を1時間延長し対応する。

2.研修会について

創造保育研究会の実技研修、（各年齢別に園内研修を実施する。）さらに保育園団体が主催する研修会・福岡県保育協会主催の研修にも参加する。又直方市保育協

会の会員となり直方市保育協会が主催する研修に参加し自己研鑽している。

3.安全管理について

消火訓練.避難訓練は毎月 1 回実施し.土砂災害.地震.不審者防犯訓練等も年 1 回実施している。

また、防災計画を作成し、これに沿った安全管理、防災に心がけている。

園児に対して防災の紙芝居やお話をしている。子どもたちも関心をもって聞いている

4.健康管理について

園児は定期的に年 2 回の内科健診,歯科検診を行っている。また、尿検査も年 2 回行った。

職員は年 1 回の健康診断を行うとともに給食、乳児担当の保育士は毎月検便を実施している。

また、感染症対策等健康管理に細心の注意を払っている。平成 29 年度はインフルエンザの流行時は例年になく、大流行し欠席者が多かった。

なお、園医と機会ある毎に流行している感染症等の情報交換を行い、感染症の予防に役立っている。

5.地域交流について

高齢者との交流は、福智の杜、生き生きホームの訪問を続け高齢者に喜ばれている。

6.施設整備について

園舎出入口戸 取替工事

保育室水槽修繕工事

屋外運動場階段改修工事、等の補修工事をおこなった。

今後はもう 1 カ所の階段改修と駐車場の整備等早急に必要である。

(8) 保育士の自己評価による反省

1. 保育の計画性について

保育の計画性については、どの年齢も 4 月当初におさえられているので大きな問題はなかった。小さな点では、翌日の保育の準備や季節変わりの対応にもっと細やかな心配りができればという課題がみえた。

2. 保育のあり方、乳幼児へ対応

保育、乳幼児への関わりには、保育士が園の方針を理解し、努めている姿が認められた。

3. 専門家としての資質

当初、入職間もない保育士は実際にこどもと関わり、戸惑いも見られたが、各人努力のあとが見られる。職員間の意思疎通を密にして保育士として向上できるよう努力しなければならない。

4. 保護者への対応

笑顔を大切に信頼・安心される保育士として対応できた。保護者からの家庭での子供の様子や相談なども受け、丁寧な対応が心掛けている。

5. 地域との関わり

災害対策の観点からも今後一層の地域との交流・連携が必要であると思われる。来年度の課題の一つだと感じている。